

講義名	キャリア実践論(アジアビジネス)			授業形態	
担当教員	辻 周吾	開講期・曜日・時間	前期 月曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生

主題と概要

本講義は、日本での就職を目指す留学生が、日本企業に関して現実的な理解を得ることを目的に行います。具体的には、日本企業のビジネスパーソンとの意見交換を通して、自身のキャリア実現に必要な知識やマインド、スキルを学びます。同時に、進路の可能性を広げるための自己理解を深めます。

到達目標

1. 日本企業の現状と課題、企業人の仕事観やキャリア観、留学生への期待等が理解できる。
2. 企業内外の多様なキャリアを学ぶことで、自身の将来の職務イメージ・可能性を拡大できる。
3. 自身の活躍領域の手掛かりを得る「意志 (Will)」、強み (Can)、価値観 (Must)」が理解できる。

提出課題

毎回の授業で、小課題、またその他「キャリア実践論」に関するテーマの課題を課します。また、「キャリア実践論」に関するテーマの中間課題と、期末課題を課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題について、授業中にフィードバックします。

評価の基準

出席および授業中に提出する課題（70%）、中間課題（15%）、期末課題（15%）等で総合的に評価します。

履修にあたっての注意・助言他

本学の「アジアビジネス人材育成プログラム」の留学生を、受講の対象としています。毎週、出欠をとります。15分以上の遅刻は、欠席とみなします。授業には、辞書を持って来てください。

教科書

参考図書

.大学のムコウ.	小樽高次キャリア教育開発チーム+キャリアバンク	日本経済評論社	1980	9784818819481
.働き方の哲学 360度の視点で仕事を考える.	村山昇	ディスカブー	2860	9784799322383
.企業経営の教科書.	遠藤功	日本経済新聞社	1100	9784532114312

その他

毎回の授業で、プリントや資料を配布します。

授業計画

1. オリエンテーション 授業の進め方、留学生と日本企業の抱える課題
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
2. 自己理解を深める 「私のWill Can Must」：動作作成、開示、フィードバック
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
3. 企業理解を深める 日本企業で求められる人材像、「社会人基礎力」
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
4. 長期視点に立った就職活動 日本企業就職の常識、キャリア構築を促進した就職活動
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
5. 自己理解を深める 「私のWill Can Must」：動作作成、開示、フィードバック
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
6. キャリア形成に関する専門研究 「自然の社会」を生かす
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
7. キャリア形成に関する専門研究 「インターネットとネットワーク」
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
8. キャリア形成に関する専門研究 「ベストよりベター」の意思決定
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
9. 企業理解を深める 大企業と中小企業、職種・業界、完全な就職先、経営状況把握手段
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
10. 自己理解を深める 「私のWill Can Must」：動作作成、開示、フィードバック
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
11. 企業人のキャリアの転機と成長 仕事観・キャリア観等の意見交換
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
12. 企業人のキャリアの転機と成長 仕事観・キャリア観等の意見交換
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
13. 企業人のキャリアの転機と成長 仕事観・キャリア観等の意見交換
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
14. 自己理解を深める 「私のWill Can Must」：動作作成、開示、フィードバック
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）
15. まとめ キャリア形成に関する疑問点解消、インターンシップ参加のすすめ
予習内容：配布資料を読み、講義内容について確認する（120分）
復習内容：配布資料を読み返し、講義内容について整理する（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○ウ：ディスカッション、ディベート	○エ：グループワーク
○オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

自律したビジネスパーソンから転機の体験を積み取ることで、最終的に自身で進路を選んでいること、キャリア自律とは「節目では自分で進路を決める」とこと気づくことができる。また、授業やビジネスパーソンとの意見交換から、近年企業で行われる社員の主体性を引き出すための施策やその背景についても学ぶことができる。日本人社員が比較的不得意と考えられている「主体性」を持つ留学生が「日本企業就職の輪」に何を求めているのか、企業を動かす力を持っている。その中で授業やビジネスパーソンとの意見交換を通して、自分らしい「就職の輪」として、就職活動の「ロケース」で自己表現を学ぶことができる。これらの点から、「自主・自立の精神を持った人材」を育成する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

全15回の授業の中で、実務経験を有する講師（ゲスト）をお呼びします。

備考

提出用の課題作成には、PowerPointを使用する必要があります。